

第二期計画のポイント

官民が一体となって活動できる新たなしくみをつくり、多様な生物が生息し、人々が豊かさを実感できる広島湾づくりを目指します。

【将来の広島湾の姿】

- 広島湾奥部で多様な魚介が生息
- 広島湾の魚介ブランドが浸透
- リサイクル材の活用による廃棄物が減少
- 海ごみが減少し、きれいな海洋・海岸景観が実現
- ソーシャルビジネスが普及
- 広島湾域の人々が豊かさを実感



目 標

森・里・川・海の繋がりを活かして、人々が豊かさを享受できる広島湾を実現し、次世代に継承する。

個別目標 1：多様な生物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

個別目標 2：人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。

個別目標 3：自然や歴史・文化的資源を活かし、水辺の美しい景観を保全する。

計画期間

平成29年度
～
平成38年度
(10年間)

目標達成のための主な取り組み

個別目標 1

- 森林整備等
- 汚水処理対策等
- 貧酸素水塊発生海域の底質改善
- 水産資源の保全・再生
- モニタリング
- 豊かな海のあり方の検討
- 干潟・藻場等の保全・再生



多様な生物が棲む豊かな海

個別目標 2

- 親水空間等の整備
- みなとの賑わいづくり
- クルーズ客船の誘致
- 水の都ひろしまづくり
- 環境教育・普及啓発活動
- 地域住民による自主的な活動促進の仕組みづくりや支援の実施
- 広報の強化等



クルーズ船とみなとの賑わい

個別目標 3

- 海ごみ発生抑制・清掃・回収活動の継続
- 海ごみ対策の強化
- 自然、歴史・文化的資源の保全・活用
- エコツーリズムの推進



海岸線で行うごみ拾いイベント

官民連携の体制

広島湾再生推進会議

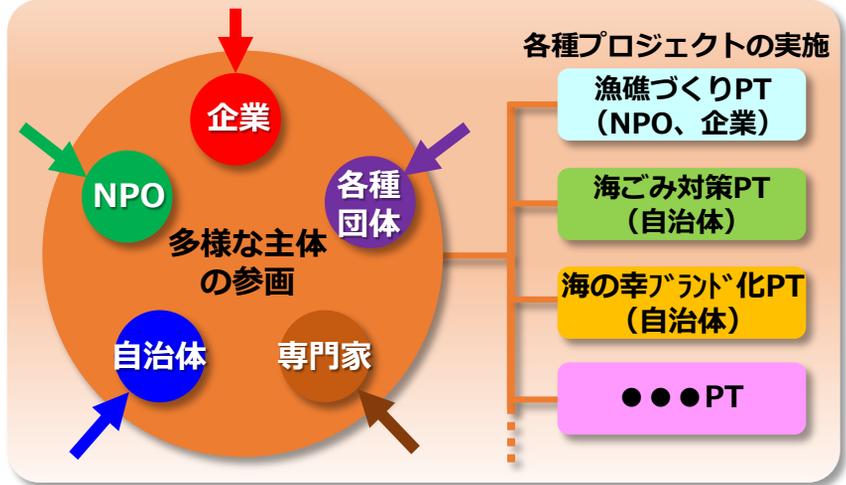
広島湾再生行動計画
(第二期)の
取り組みを推進

◆メンバー◆
国、県・政令市

支援

提言

官民連携組織



目標達成状況の評価

- 目標達成状況を、「行動指標」、「状態指標」の2種類の指標で評価。
- PDCAサイクル^{注)}の導入により、必要に応じ、施策等の見直しを実施。

PDCAサイクル



注)PDCAサイクル:事業活動における生産管理や品質管理等の管理業務を円滑に進める手法の一つで、Plan(計画)→Do(実施)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、活動を継続的に改善するマネジメント手法である。

アピールポイント

- 多くの人が訪れ、広島湾や、広島湾につながる森や川について理解が深められる場所をアピールポイントに設定。
- アピールポイントでは、情報発信や地域住民等との参加・協働による取り組みを推進。



No.	アピールポイント	取り組み内容
①	ひろしま遊学の森(広島市森林公園・広島県緑化センター)及び広島湾流域の森林	森林に親しむイベント等の実施、森林ボランティア活動の推進
②	温井ダム周辺	エコツーリズムの推進
③	京橋川、元安川、猿俣川周辺	「水の都ひろしま」づくりの推進
④	広島港	五日市地区人工干潟、クルーズ客船の誘致の推進、宇品・出島地区のみなどの賑わいづくり事業、みなとオアシス広島のパイエリアに親しむイベント等の実施
⑤	厳島周辺	厳島港宮島口地区・胡町地区のみなどの賑わいづくり事業、宮島周辺海岸での海岸清掃活動
⑥	みなとオアシスパイサイドビーチ坂	パイエリアに親しむイベント等の実施
⑦	呉港	パイエリアに親しむイベント等の実施
⑧	みなとオアシスえたじま	パイエリアに親しむイベント等の実施
⑨	岩国港	「クルーズやまぐち」おもてなし向上事業
⑩	みなとオアシスゆう	パイエリアに親しむイベント等の実施
⑪	屋代島周辺	エコツーリズムの推進、パイエリアに親しむイベント等の実施